

シーン - 3 サンクチュアリセンター機能充実事業

事業目的

生物多様性と生態系の保全の重要性への理解を一層深め、豊かな生物多様性を将来にわたって継承していく必要があるため、生物多様性に関する環境教育の充実を図っていくものです。

事業効果

CO2削減効果	- t - CO2

事業内容

国内で2番目のラムサール条約の登録湿地である伊豆沼・内沼に、平成3年に開館した宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターは、野鳥等の自然観察の場として、また、伊豆沼・内沼の自然環境を紹介・展示する場として広く県民に利用されてきました。伊豆沼・内沼の自然環境も変化する中で、自然環境に関する社会の関心も高まっていることから、自然環境の保全や生物多様性の重要性について、県民の意識啓発を図るため、伊豆沼・内沼をはじめとする県の自然環境や生物多様性に関する展示機能を充実・強化します。

平成25年度

事業費 7,056千円

事業量 展示内容の基本設計、実施設計

実施主体 県



現 状

展示内容

- ・ 伊豆沼・内沼の生態系
- ・ 伊豆沼・内沼の生態系保全等に係る研究成果
- ・ 渡り鳥の飛来経路
- ・ 鳥の剥製等

税導入後のイメージ

展示内容

- ・ 生物多様性と生態系の保全の重要性を分かりやすく展示している。
- ・ 伊豆沼・内沼の生態系の研究成果等の展示を充実に、幅広く情報を発信している。
- ・ 映像機器等を整備し、大人から子どもまで楽しく学べる展示をしている。